

成都&チベット 2005.12.29 ~ 2006.01.03

■ 2005.12.29 蜀の都「成都」 ■

08:55 中国国際航空 CA0422 便で出発。北京経由。15:30 成都着。
成都是三国志で有名な蜀の都。三国志ファンの勲ちゃんには胸ときめく街。
タクシーで市内へ行き、武侯祠と杜甫草堂を駆け足で見学。
諸葛孔明と劉備元徳を祀った武功祠に大感激。
例によってネットで予約したホテル四川賓館は、部屋に LAN 回線があり、速度も快適。
NHK の衛星放送も見られ、まるで日本にいるみたい。



【武侯祠】

【杜甫草堂】

■ 2005.12.30 ラサ到着 ■

07:30 CA-4401 便でラサ (チベット) へ。チベット自治区内では、原則として個人での旅行はできないことになっている。そのため、今回はガイド付きの旅行となった。

空港から市内までは 100 キロ以上離れている。それでも新しく道路ができたようで、以前より 30 分早い、1 時間で市内に到着した。

ラサの標高は 3650m。富士山の頂上より少し低いくらい。慣れるまでは少しの運動でも疲れやすく、人によっては高山病の心配もある。

初日は無理をせず、ホテルでゆっくり過ごす。ホテル天海賓館にネット設備はなく、ダイヤルアップで接続。お湯がぬるく、部屋も寒くて涙。



【バルコル (八角街)】

【遠くのポタラ宮を背景に】

【ホテル】

■ 2005.12.31 「ジョカン」(大昭寺) ■

チベットで最も聖なる寺院「ジョカン」(大昭寺) を見学。
今は旅行のオフシーズンで、遊牧民たちにとって暇なこの時期は巡礼の期間である。
そのため、正門は「五体投地」をする礼拝者であふれていた。寺院内部も大変な混雑。
台座に額を押しついたり、五体投地をする人がいるため大渋滞。
熱心な参拝者のパワーに圧倒された。やっとの思いでバルコル (八角街) へ。
ジョカンの周りを巡る道は多くの店があって、巨大な市場になっている。
おみやげなどはここですべて揃うとのこと。
昼食は日本食にしたかったが、店はクローズしていた。
代わりに、チベット名物モモ (餃子) を食べる。具はヤクの肉。唐辛子のたれにつけて食べる。
ヤクのバターで作ったバター茶もいただく。
夜は、日本から持参した「どん兵衛」で年越しそばを食べる。疲れてすぐ眠る。



■ 2006.01.01 ラサの象徴「ポタラ宮」 ■

チベットで最高級のホテル拉薩飯店に移動。オンシーズンの3分の1ほどの値段で宿泊できたのはラッキー。これもネットで予約したホテル。部屋は暖かく、熱いお湯がたっぷり出る。

初詣は有名な「ポタラ宮」へ。ダライ・ラマ5世が建立した宮殿であり、ラサの象徴である。高さ115m 東西360m 南北300m 総面積41km² 歩くのにヒイヒイ言いながら登った。

紅宮は、ダライラマ5世の霊塔、聖観音殿、金剛仏像殿など見所たっぷり。時輪殿の立体曼荼羅が特に印象に残った。

部屋からネット接続するも、ココログは時間がかかりすぎ。更新ができない。「勲は異国でどうなった？」と、きっと心配している人たちがいるだろうに…。メールの送受信は快適なのに…。



【ポタラ宮と僕】



【ポタラ宮近影】



【素敵な紋様】

■ 2006.01.02 デブン寺 ■

ラサ市の校外にあるデブン寺は、あのポタラ宮よりもはるかに規模が大きく、20万m²を超える。ゲルク派最大の寺院で、最盛期には1万人もの僧侶を抱えていたという。

空気が薄いので、歩くのはホントにタイヘンだ。例によって巡礼者であふれ、本尊まで辿り着くのに苦労した。

昼食は八角街近くで、チベット料理。麻婆豆腐と高山植物（小豆のような味）を食べた。

あまりに疲れたので、もう一箇所予定していた寺院の見学をキャンセル。

ガイドさんに頼んで買い物を手伝ってもらった。本来、値切るのは苦手なイサちゃんだが、値切りまくっておみやげを買った。



【デブン寺外観】



【ツォンカパ大師玉座】



【釈迦像】

■ 2006.01.03 帰国 ■



【レストラン】



【チベット料理】



【ポタラ宮前の仏塔】

8:00 ホテルからタクシーで空港へ。運ちゃんが空港を通り越し引き返すという、前代未聞の事態発生。10:20 CA4402 便で成都。

ここで国際便に乗り換えるのだが、飛行機が遅れ乗り換え時間がまた少なくなりあせる。なんとか手続きをすませ搭乗。

13:40 CA421 で成都発。北京経由。成田着。食事は機内食のみで3食。

日本食が恋しい…。21:00 成田着。前回と同じホテル泊。バタンキュー。

■ 2006.01.04 休養 ■

コンフォートホテル成田は、5510 円という安さで泊まれ、ネット環境も設備もいいのに、朝食もつく。普段は朝食をたべないのだが、おにぎりを3個も食べちゃった。

チェックアウトぎりぎりにホテルを出て東京。例によって秋葉原見学。

常宿に宿泊してゆっくり休養。

■ 2006.01.05 帰れない… ■

疲れのため、チェックアウトぎりぎりまで寝てしまう。

東京駅に行ったら、秋田新幹線は全面運休という宣告… (^_^;)

八重洲ブックセンターに行って時間つぶしをしたが、埒があかず。

東北新幹線で北上まで行けば、北上線で横手まで行けるとふんだが、事故のため、これもだめ。仕方なく、盛岡まで来てみたが、その先の見通しはないという。

バスもだめと言われ、盛岡駅前のメトロポリタンホテルに宿泊す。とほほ…。

今夜も大雪らしい…。

■ 2006.01.06 やっと帰宅 ■

朝起きてTVをつけると、秋田新幹線「こまち」は今日の午前中も全面運休という。

駅に行ってみると、秋田駅まで代行バスが出ることが分かった。

急いでホテルをチェックアウト。バスを待っていると岩手のTV局がカメラを回していた。

(TVのニュースに出るかも?)。

9時半に盛岡駅出発。秋田駅東口についたのは12時45分。羽越線はまだ全面運休。

幸い羽後本荘までの急行バスは動いていた。

1時11分発。本荘駅近くの自宅についたのは3時少し前だった。長い帰宅劇だったのう…。

(^_^;)